

謹 賀 新 年

ハートフル・ワード (心からの言葉)

山内公認会計士事務所

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

親子同時に取締役を退くのは当然のこと 鍵山 秀三郎 (イエローハット創業者)

1. 9月30日、イエローハットの創業者、鍵山秀三郎相談役が取締役を辞任した。息子の鍵山幸一郎社長も業績不振の責任を取り退任。後任には親族外の堀江康生常務が就任した。創業家である「鍵山家」は経営の一線から消える。
2. 自分（鍵山秀三郎相談役と鍵山幸一郎社長）たちの地位だけ温存して、何とか変えようと言うのは、私の考えにないことです。責任を取ったら、地位はやはり一度ゼロにしなければならない。人の上に立つ者は、そういうあいまいな、片足を残しておくようなことは許されないのです。後を引き受ける人にとっても失礼なことだからです。新社長に思う存分やってもらうためには潔く「鍵山」という名前は消す。それが大事です。
3. 普通、こういうときに人は誰かにうっかり相談するものです。引き留められるのを期待して相談するわけです。「どうぞお辞め下さい」という人は、まずいません。息子は今期いっぱい務めるつもりだったかもしれませんが、でも、それでは遅い。これだけ社会情勢が変わってきているのだから、本人も世の中の厳しさは痛感していたでしょう。お互いに未練がましい話はしませんでした。後の人が喜んで引き受けてくれるように会社をつくってから譲るのが美しい事業承継なのですが、私ども親子はそれができなかった。私どもが取締役を退くのは、決断でも何でもなく、当然のことだと思います。

(参考:「日経ベンチャー」2008年11月号)

経営者のための営業学

業績不振を市場縮小のせいにはいけない

安部 修仁 (吉野家ホールディングス社長)

1. 人口減少は、まさに文字通り、「人の口が減る」。国内市場の縮小に直面する外食やコンビニエンスストアは、厳しい経営環境にあるのは確かだ、それでも、私は、「市場縮小を売り上げ未達の言い訳にしてはならない」というメッセージを社内に発している。私が最も恐れているのは、「市場が縮小しているから仕方がない」と思考が停止する事態だ。こうなると企業の成長は止まってしまう。
2. 業績が伸びない理由を突き詰めていくと、それは他社より優れた商品やサービスを自社で提供できないことに尽きる。実際、新興勢力は、市場が縮小しているという観念がない。ひたすら自分たちの店舗に来る顧客に対して、商品やサービスを通じて固有の価値を提供しようと頑張っている。この一念を持つ企業が伸びていくのは世の常だ。(参考:「日経ビジネス」:2008年9月15日号)

心・健康・環境について

健康寿命を伸ばす 10 の生活習慣

1. 食事は1日3回、朝食を抜かない
2. 魚を積極的に食べる
3. 「ベジフル7」(野菜5皿と果物2皿)
4. 抗酸化物質を取り入れる
5. お酒を飲むなら赤ワイン
6. 腹7分目でカロリー制限
7. 定期的、継続的に体を動かす
8. 情報をアウトプットする
9. ストレスは毎日解消する
10. 今日の自分を記録する

(参考:「週刊ダイヤモンド」)

2008年9月20日号)

古典に学ぶ

しついで ことおほ
失意の事多ければ

「得意の事多く、失意の事少ければ、其の人知慮を減す。不幸と謂うべし。得意の事少く、失意の事多ければ、其の人知慮を長ず。幸と謂うべし」

(訳) 得意多く、失意の少ない人は深く考えることもないから思慮分別の力が少なくなる。不幸なことだ。得意が少なく、失意のことが多い人は失意から脱しようとして思いめぐらすから知恵も分別も増してくる。却って幸いである。

(参考:佐藤一斎「言志四録」): PHP文庫